



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年1月31日  
東

上場会社名 住友ファーマ株式会社 上場取引所  
 コード番号 4506 URL <https://www.sumitomo-pharma.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 野口 直記 (TEL) 03-5205-3725  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	460,265	6.5	42,926	△27.2	△17,777	—	△32,627	—	△18,502	—	28,682	25.9
2022年3月期第3四半期	432,072	9.5	58,958	△18.7	58,228	△33.5	35,183	△39.2	46,359	△34.0	22,780	154.8

(参考) 税引前四半期利益 2023年3月期第3四半期 2,192百万円 2022年3月期第3四半期 65,583百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益(調整項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△46.57	—
2022年3月期第3四半期	116.69	—

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	1,371,517	698,026	635,149	46.3	1,598.70
2022年3月期	1,308,007	673,569	607,888	46.5	1,530.08

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2023年3月期	—	14.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	563,000	0.5	34,000	△41.9	△27,000	—	△35,000	—	△88.10	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
- 新規 一社(社名) Urovant Sciences Ltd.  
、除外 3社(社名) Enzyvant Therapeutics Ltd.  
Altavant Sciences Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期第3四半期	397,900,154株	2022年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2023年3月期第3四半期	608,168株	2022年3月期	607,238株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期第3四半期	397,292,402株	2022年3月期第3四半期	397,293,379株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれていません。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 連結子会社である Myovant Sciences Ltd. (以下「マイオバント社」) はニューヨーク証券取引所に上場しており、当社グループはマイオバント社の発行済株式の約52%を保有しています。「オルゴビクス」(レルゴリクス)、「マイフェンブリー」/「ライエクオ」(レルゴリクス配合剤)はマイオバント社の製品です。本資料にはマイオバント社に関する情報が含まれていますが、これらは同社による開示済の情報に基づいています。マイオバント社に関する詳細については、<https://www.myovant.com>をご覧ください。
- 四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。
- 当社は、2023年1月31日(火)に機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

※ 追加情報およびその入手場所

- 本資料は、企図される Sumitovant Biopharma Ltd. (以下「スミトバント社」) および当社によるマイオバント社の買収に係る勧誘文書と見做される可能性があります。当該企図される買収に関連して、スミトバント社、当社およびマイオバント社は、Schedule 13Dの訂正報告書、Schedule 13E-3を用いた当社およびスミトバント社に係る取引の詳細ならびに Schedule 14Aを用いたマイオバント社の委任状を含む関係書類を米国証券取引委員会(SEC)に提出しています。SECに提出された当社およびスミトバント社の取引詳細ならびにマイオバント社の委任状を含む関係書類には企図される取引に関する重要な情報が含まれることから、同社の株主におかれましては、これらの書類をすべてお読みになるようお願いいたします。投資家および証券保有者におかれましては、これらの書類をSECのウェブサイト(<http://www.sec.gov>)にて、無償で入手することができます。また、マイオバント社の株主におかれましては、これら書類を同社のウェブサイト(<https://www.myovant.com>)のIRページより無償で入手することができます。

※ 勧誘への参加者

- スミトバント社、その取締役および執行役員、当社、その取締役および執行役員、ならびに、マイオバント社、その取締役および執行役員は、企図される取引に関し、マイオバント社の普通株主に対する委任状勧誘への参加者と見做される可能性があります。当社の取締役および執行役員に関する情報は、2023年1月23日付けでSECに提出されたSchedule 13E-3を用いた当社およびスミトバント社に係る取引の詳細に、マイオバント社の取締役および執行役員に関する情報は、2023年1月23日付けでSECに提出された同社の株主総会の委任状に記載のとおりです。当該参加者の利害関係に関する追加情報は、本件に関する委任状が提供された後にこれを参照することにより入手可能です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

## (業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとします。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上収益	4,321	4,603	282	6.5
コア営業利益	590	429	△160	△27.2
営業利益	582	△178	△760	—
税引前四半期利益	656	22	△634	△96.7
四半期利益	352	△326	△678	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	464	△185	△649	—

■ 売上収益は4,603億円（前年同四半期比6.5%増）となりました。

日本セグメントは、市場浸透により売上が伸長している製品があるものの、薬価改定の影響等により減収となりました。一方、北米、中国、海外その他の各セグメントは、為替換算の影響や主力製品の売上拡大等により増収となりました。

■ コア営業利益は429億円（前年同四半期比27.2%減）となりました。

増収による売上総利益の増加に加え、慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療剤「プロバナ」および喘息治療剤「ゾペネックスHFA」の販売権譲渡や優先審査バウチャーの売却等によるその他の収益の計上がありました。為替換算の影響等による販売費及び一般管理費や研究開発費の増加が大きく、コア営業利益は減益となりました。

■ 営業利益は△178億円（前年同四半期比760億円の減益）となりました。

第2四半期において、米国で販売中のパーキンソン病に伴うオフ症状治療剤「キンモビ」について、収益予測を見直した結果、本製品に係る特許権等を全額減損しました。これに係る減損損失560億円の計上により、営業利益は大幅な減益となりました。

■ 税引前四半期利益は22億円（前年同四半期比96.7%減）となりました。

為替差益の計上により、金融収益から金融費用を差し引いた金融損益は増益となりましたが、減損損失計上の影響が大きく、税引前四半期利益は減益となりました。

■ 四半期利益は△326億円（前年同四半期比678億円の減益）となりました。

税引前四半期利益が減益となったことにより、四半期利益についても減益となりました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は△185億円（前年同四半期比649億円の減益）となりました。

四半期利益の減益の影響が大きく、非支配持分に帰属する損失を控除した親会社の所有者に帰属する四半期利益も減益となりました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

<日本>

■ 売上収益は1,022億円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

非定型抗精神病薬「ラツーダ」や2型糖尿病治療剤「ツイミーグ」等の売上は伸長しましたが、薬価改定の影響等により、減収となりました。

■ コアセグメント利益は96億円（前年同四半期比43.4%減）となりました。

減収による売上総利益の減少により、減益となりました。

<北米>

■ 売上収益は2,794億円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

前年同四半期においては、精神神経領域における大塚製薬株式会社との共同開発・販売提携に伴う契約一時金の収益計上がありました。当第3四半期においては、為替換算の影響に加え、進行性前立腺がん治療剤「オルゴビクス」、過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」等のスミトバント社グループ製品の売上伸長により、増収となりました。

■ コアセグメント利益は557億円（前年同四半期比39.1%減）となりました。

スミトバント社グループの費用の増加や為替換算による販売費及び一般管理費の増加が、売上総利益の増加を上回り、減益となりました。

<中国>

■ 売上収益は312億円（前年同四半期比15.6%増）となりました。

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」等の製品は、為替換算の影響等により増収となりました。

■ コアセグメント利益は163億円（前年同四半期比25.9%増）となりました。

増収による売上総利益の増加により、増益となりました。

<海外その他>

■ 売上収益は135億円（前年同四半期比84.2%増）となりました。

選択的オレキシン2受容体作動薬（DSP-0187）のライセンス契約の対価として受領した契約一時金を収益認識した影響が大きく、増収となりました。

■ コアセグメント利益は86億円（前年同四半期比496.8%増）となりました。

増収による売上総利益の増加により、増益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品等の販売を行っており、これらの売上収益は340億円（前年同四半期比13.8%増）、コアセグメント利益は29億円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、当社が保有する投資有価証券の公正価値評価の変動により、その他の金融資産が増加したことに加え、為替換算の影響によりのれん等が増加しましたが、減損損失の計上による無形資産の減少が大きく、前連結会計年度末に比べ155億円減少しました。

流動資産は、短期貸付金の回収によるその他金融資産の減少はありましたが、現金及び現金同等物が増加した結果、前連結会計年度末に比べ790億円増加しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ635億円増加し、1兆3,715億円となりました。

負債については、引当金や営業債務及びその他の債務等が増加した結果、前連結会計年度末に比べ391億円増加し、6,735億円となりました。なお、社債及び借入金は合計で2,497億円となり、前連結会計年度末に比べ193億円減少しました。

親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金は減少しましたが、その他の資本の構成要素が増加した結果、前連結会計年度末に比べ273億円増加し、6,351億円となりました。また、非支配持分は、前連結会計年度末に比べ28億円減少しました。

これらの結果、資本合計は前連結会計年度末に比べ245億円増加し、6,980億円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は46.3%となりました。

また、連結子会社である住友ファーマフード&ケミカル株式会社および住友ファーマアニマルヘルス株式会社の株式譲渡契約が当第3四半期において締結されたことに伴い、関連する資産については売却目的で保有する資産、負債については売却目的で保有する資産に直接関連する負債、資本については売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益にそれぞれ分類しています。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益は減少しましたが、減損損失などの非資金損益項目の増加に加え、引当金の増加や法人所得税の支払額の減少などにより、前年同四半期に比べ475億円収入が増加し、565億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資の取得による支出の減少および無形資産の売却による収入などにより、前年同四半期に比べ144億円収入が増加し、217億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により前年同四半期に比べ126億円支出が増加し、330億円の支出となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物に係る換算差額を加え、売却目的で保有する資産への振替額を差し引いた結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,658億円となり、前連結会計年度末に比べ628億円増加しました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2022年10月31日に公表した2023年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

## 1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	604,000	32,000	△30,000	△15,000	△37.76
今回修正予想 (B)	563,000	34,000	△27,000	△35,000	△88.10
増減額 (B-A)	△41,000	2,000	3,000	△20,000	—
増減率 ( % )	△6.8	6.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	560,035	58,509	60,234	56,413	141.99

(注) コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

## 2. 修正の理由

今回修正予想においては、通期の想定為替レート (期中平均為替レート) を前回発表予想の1ドル140.0円から135.0円、1元20.0円から19.5円に見直しています。

売上収益は、想定為替レートを見直したことによる減収や、北米セグメントでラツダ等の下方修正を見込むことから、前回発表予想から410億円減の5,630億円に修正しました。

一方、販売費及び一般管理費は、当年度末までの完了を前提として、マイオバント社完全子会社化にかかる費用を織り込みますが、為替レートの見直しの影響が大きく、合計では40億円減少する見込みであり、研究開発費についても為替レートの見直しにより20億円の減少を見込みます。また、その他の収益 (コア内) において、連結子会社である住友ファーマフード&ケミカル株式会社の株式譲渡益250億円を織り込みました。

以上の結果、コア営業利益は、前回発表予想から20億円増の340億円に、営業利益は、前回発表予想から30億円増の270億円の損失に修正しました。

また、金融収益において、想定為替レートの見直しにより、為替差益の大幅な減少を見込むことから、親会社の所有者に帰属する当期利益は、前回発表予想から200億円減の350億円の損失に修正しました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 【要約四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	432,072	460,265
売上原価	117,835	139,766
売上総利益	314,237	320,499
販売費及び一般管理費	189,029	289,469
研究開発費	67,782	75,996
その他の収益	1,677	28,274
その他の費用	875	1,085
営業利益 (△は損失)	58,228	△17,777
金融収益	9,643	22,648
金融費用	2,288	2,679
税引前四半期利益	65,583	2,192
法人所得税	30,400	34,819
四半期利益 (△は損失)	35,183	△32,627
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	46,359	△18,502
非支配持分	△11,176	△14,125
四半期利益 (△は損失)	35,183	△32,627
1株当たり四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失)	116.69	△46.57

## 【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益 (△は損失)	35,183	△32,627
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△27,682	23,489
確定給付負債(資産)の純額の再測定	△22	—
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	15,348	37,896
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△47	△76
その他の包括利益合計	△12,403	61,309
四半期包括利益合計	22,780	28,682
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	31,508	37,045
非支配持分	△8,728	△8,363
四半期包括利益合計	22,780	28,682

## (2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	64,091	59,471
のれん	195,144	211,565
無形資産	398,692	357,420
その他の金融資産	115,844	141,529
未収法人所得税	5,538	6,004
その他の非流動資産	6,527	4,493
繰延税金資産	22,650	12,520
非流動資産合計	808,486	793,002
流動資産		
棚卸資産	99,021	90,469
営業債権及びその他の債権	151,407	149,389
その他の金融資産	35,596	22,488
未収法人所得税	93	458
その他の流動資産	10,420	16,192
現金及び現金同等物	202,984	265,773
小計	499,521	544,769
売却目的で保有する資産	—	33,746
流動資産合計	499,521	578,515
資産合計	1,308,007	1,371,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	243,963	244,087
その他の金融負債	16,471	14,046
退職給付に係る負債	11,461	10,527
その他の非流動負債	57,620	59,499
繰延税金負債	26,550	35,786
非流動負債合計	356,065	363,945
流動負債		
借入金	25,085	5,627
営業債務及びその他の債務	46,183	52,669
その他の金融負債	13,302	10,480
未払法人所得税	7,583	12,206
引当金	119,149	149,128
その他の流動負債	67,071	69,064
小計	278,373	299,174
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	10,372
流動負債合計	278,373	309,546
負債合計	634,438	673,491
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	16,725	18,066
自己株式	△681	△682
利益剰余金	514,210	486,201
その他の資本の構成要素	55,234	107,555
売却目的で保有する資産に関連する その他の包括利益	—	1,609
親会社の所有者に帰属する持分合計	607,888	635,149
非支配持分	65,681	62,877
資本合計	673,569	698,026
負債及び資本合計	1,308,007	1,371,517

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定	在外営業活動体の換算差額
2021年4月1日残高	22,400	15,855	△679	508,677	38,575	—	△4,331
四半期利益	—	—	—	46,359	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△27,682	△22	12,900
四半期包括利益合計	—	—	—	46,359	△27,682	△22	12,900
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,124	—	—	—
非支配持分との取引	—	△167	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	3,756	△3,778	22	—
売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益への振替	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△167	△1	△7,368	△3,778	22	—
2021年12月31日残高	22,400	15,688	△680	547,668	7,115	—	8,569

2022年4月1日残高	22,400	16,725	△681	514,210	23,838	—	31,273
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△18,502	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	23,489	—	32,134
四半期包括利益合計	—	—	—	△18,502	23,489	—	32,134
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,124	—	—	—
非支配持分との取引	—	1,341	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	1,617	△1,617	—	—
売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益への振替	—	—	—	—	△1,562	—	—
所有者との取引額等合計	—	1,341	△1	△9,507	△3,179	—	—
2022年12月31日残高	22,400	18,066	△682	486,201	44,148	—	63,407

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計				
2021年4月1日残高	73	34,317	—	580,570	67,608	648,178
四半期利益	—	—	—	46,359	△11,176	35,183
その他の包括利益	△47	△14,851	—	△14,851	2,448	△12,403
四半期包括利益合計	△47	△14,851	—	31,508	△8,728	22,780
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△11,124	—	△11,124
非支配持分との取引	—	—	—	△167	6,105	5,938
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△3,756	—	—	—	—
売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益への振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△3,756	—	△11,292	6,105	△5,187
2021年12月31日残高	26	15,710	—	600,786	64,985	665,771
2022年4月1日残高	123	55,234	—	607,888	65,681	673,569
四半期利益 (△は損失)	—	—	—	△18,502	△14,125	△32,627
その他の包括利益	△76	55,547	—	55,547	5,762	61,309
四半期包括利益合計	△76	55,547	—	37,045	△8,363	28,682
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△11,124	—	△11,124
非支配持分との取引	—	—	—	1,341	5,559	6,900
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△1,617	—	—	—	—
売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益への振替	△47	△1,609	1,609	—	—	—
所有者との取引額等合計	△47	△3,226	1,609	△9,784	5,559	△4,225
2022年12月31日残高	—	107,555	1,609	635,149	62,877	698,026

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益 (△は損失)	35,183	△32,627
減価償却費及び償却費	28,190	32,089
減損損失	—	56,043
条件付対価公正価値の変動額	245	△1,229
有形固定資産売却損益 (△は益)	△103	△220
無形資産売却損益 (△は益)	△173	△12,067
受取利息及び配当金	△1,106	△3,572
支払利息	2,236	2,026
法人所得税	30,400	34,819
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△16,751	△4,989
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,313	9,287
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△16,921	6,186
前受収益の増減額 (△は減少)	2,240	△1,344
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	△8,882	△4,271
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	△21
引当金の増減額 (△は減少)	2,138	20,596
その他	△10,844	△24,060
小計	48,186	76,646
利息の受取額	118	2,435
配当金の受取額	985	965
利息の支払額	△1,498	△1,395
法人所得税の支払額	△38,730	△22,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,061	56,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,193	△5,906
有形固定資産の売却による収入	310	625
無形資産の取得による支出	△5,498	△3,539
無形資産の売却による収入	173	12,204
投資の取得による支出	△24,876	△5,872
投資の売却及び償還による収入	15,625	9,851
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	27,678	12,413
その他	△960	1,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,259	21,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	29	559
長期借入金の返済による支出	△4,220	△20,020
リース負債の返済による支出	△3,476	△3,357
配当金の支払額	△11,117	△11,114
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△3,595	—
その他	1,984	915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,395	△33,017
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,075	45,201
現金及び現金同等物の期首残高	193,698	202,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,717	20,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	196,340	268,231
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△2,458
現金及び現金同等物の四半期末残高 (要約四半期連結財政状態計算書計上額)	196,340	265,773

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

### (1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

### (2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」における報告セグメントに含まれない「その他」の区分に係るコアセグメント利益の金額及び前年同四半期比増減については、セグメント間取引として消去された利益を含めて記載しております。

## ① 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益等	117,167	250,698	27,026	7,328	402,219	29,853	432,072
セグメント間の内部売上 収益	53	—	—	—	53	30	83
合計	117,220	250,698	27,026	7,328	402,272	29,883	432,155
セグメント利益 (コアセグメント利益)	16,964	91,471	12,922	1,443	122,800	2,775	125,575

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

## ② 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益等	102,198	279,366	31,229	13,501	426,294	33,971	460,265
セグメント間の内部売上 収益	51	—	—	—	51	44	95
合計	102,249	279,366	31,229	13,501	426,345	34,015	460,360
セグメント利益 (コアセグメント利益)	9,607	55,685	16,272	8,612	90,176	2,831	93,007

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

## (3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

売上収益	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメント計	402,272	426,345
「その他」の区分の売上収益	29,883	34,015
セグメント間取引消去	△83	△95
要約四半期連結財務諸表の売上収益	432,072	460,265

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメント計	122,800	90,176
「その他」の区分の利益	2,775	2,831
セグメント間取引消去	19	20
研究開発費(注)	△67,782	△74,854
事業譲渡益等	1,141	24,712
その他	5	41
コア営業利益	58,958	42,926
条件付対価公正価値の変動額	△245	1,229
減損損失	—	△56,074
その他の収益	531	3,521
その他の費用	△875	△1,085
その他	△141	△8,294
要約四半期連結財務諸表の営業利益 (△は損失)	58,228	△17,777

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される減損損失及び研究開発関連費用であります。

## (減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、医薬品事業の北米セグメントにおいて56,043百万円の減損損失を認識し、要約四半期連結損益計算書の販売費及び一般管理費に計上しております。

当該減損損失は、医薬品事業の北米セグメントにおける、パーキンソン病に伴うオフ症状治療剤「キンモビ」に係る特許権の減損損失55,778百万円、及びソフトウェア等の減損損失265百万円であります。

「キンモビ」に係る特許権、及びソフトウェア等について、収益性が見込めなくなったため、帳簿価額全額を減額しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。